



19 ボランティアの受入を積極的に行っている。	○	○	○	○	○	○	○	
20 実習生の受入を積極的に行っている。	○	○	○	○	○	○	○	
21 家族・利用希望者の訪問・見学は随時受けている。	○	○	○	○	○	○	○	

《苦情、虐待事案への対応等の体制の整備》	A	B	C	D	E	F	G	改善の方向性
22 虐待防止に関する責任者を定めている。	○	○	○	○	○	○	○	
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	○	○	○	○	○	○	○	
24 苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者等を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	×	×	×	×	×	×	×	第三者委員会を定めてはいるが、行政の苦情相談窓口は案内している。
26 職員が支援等に関する悩みを相談することのできる相談体制を整えている。	○	○	○	○	○	○	○	
27 施設内での虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している。	○	○	○	○	○	○	○	
28 施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止策等を具体的に文章化している。	○	○	○	○	○	○	○	

《その他》	A	B	C	E	F	G	F	改善の方向性
29 施設において利用者の金銭及び貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	×	×	×	×	×	×	×	貴重品を預かっていない。(児童や保護者保管)
30 施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○	○	○	○	○	○	○	
31 施設経営者・管理者は、職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○	×	×	×	×	×	×	施設経営者に職員の意見を聞く場面を設定するように依頼する
32 施設経営者・管理者は、施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	×	×	×	×	×	×	×	施設職員同士はコミュニケーションを図っているが、施設経営者と施設職員がコミュニケーションを図る機会が少ないため、検討してもらえよう依頼する
33 利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	
34 希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者・家族に説明を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	
35 利用者・家族、一般市民やオンブズマン等からの情報開示についても応じられる準備をしている。	○	×	×	×	×	×	×	開示できるように意識しながら記録の記記入する。
36 虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	×	×	×	×	×	×	×	育児に関する相談には助言などの支援を実施しているが、明確に虐待防止、権利擁護とテーマを定めて保護者や利用者とは意見を交換していない。関係機関とは虐待事案が発生した場合は意見交換を実施する予定である。保護者の育児に関する相談も虐待を未然に防止している事を全職員が周知と理解ができるように虐待防止委員会にて活動を実施していく。